

「の」の字の世界

佐藤春夫

青空文庫

うたちちゃんは、三人兄弟の末で、来年からは幼稚園ようちへ行こうと
いうのですが、早くから、自分ではお姉ねえちゃん気どりで「えいち
やん」「えいちやん」と、自分をよんでいます。「えいちやん」
とは、ねえちゃんのかたことなのです。

うたちちゃんは、「えいちやん」だけに、二つ上のなき虫の兄が
なくと、すぐ手ぬぐいを持って行って、なみだをふいてやつたり、
頭をさすつたり、まことによく気のつく、りこうな子なのです。
それなのに、どうしても字をおぼえません。なき虫の兄さんの方
は、うたちちゃんの年ごろには、だれも少しも教えないのに、野球
かるたで、平がなはすつかり読み書きをおぼえ、それから、す

もうの名まえといっしよに、その本字までたくさんおぼえていたものです。兄弟でも、これほどちがうものか。うちちゃんも、今にはひとりでおぼえるだろう、といっている、なかなかそのけぶりもありません。うちちゃんは、え本でもなんでも、あけてみてはすぐおもしろいお話をこしらえて、みなひとりで読んでしまうのです。これでは、まるで字の必要もないわけなのだ、と気がつきました。それにしても、自分の名まえぐらい書けないでは、うち園でもこまるだろう。

ちよつとためしに、名まえの三字だけでもおぼえさせて見よう、と「う」の字から教えはじめたが、やっぱりだめなのです。二、三日かゝって、やっと読み方はおぼえたが、書くことはどうして

もだめなので、あきらめて「の」の字を教えはじめました。「う」の字の下を「の」のように書くのに気がついたからです。「の」の字を、はじめはまるい字とよんで、これを読むことはすぐおぼえましたが、書くのは、逆さかの方向にまげたり、しつぽの方から頭へもって行ったり、どうしてもだめでしたが、三日ほどしたら、どうやらそれらしい字ができました。書きはじめても、読み方をわすれてはいけない、と書くけいこをさせながらも、え本や学校の本などを出してきて、うちちゃんに「の」の字をさがし出させているうちに、兄さんの野球の雑誌ざっしからも、お父さんの新聞のうしろからも、うちちゃんは「の」の字さえ見れば、きつとひろい出すようになり、書くこともだんだん上手になりました。

うたちやんの世界は、今や「の」の字の世界になりました。新聞には、大きいことや小さいことや「の」の字はどつきり。うたちやんには、新聞も「の」の字ばかりです。お兄さんのまわすコマが、「の」の字を書いているし、コマのヒモも、おえんがわで「の」の字になっていきます。お庭のカタツムリは「の」の字をしよつて歩いているし、うたちやんの夜具のカラクサもようも、あちらむきやこちらむきの「の」の字が一ぱいです。お兄さんの頭の上に、だれか「の」の字を書いているというのを見ると、つむじのことなのです。お庭に「の」の字が生きて動いていた、というので、ついて行つて見ると、ミミズがいたので、みんなでわらいました。みんながわらつたので、うたちやんは、ひどくしよげてしまつ

たので、わたしは

『ほんとうに「の」の字が生きて、ねんねしていたね』

と、うたちちゃんを、なぐさめてやってからいいました。

『うたちちゃん、字は「の」の字のほかにもまだたくさんあるので
す。うたちちゃんの「う」の字でも、「た」の字でも、ね。みんな
おぼえますか』

うたちちゃんは、大きくうなずいた。うたちちゃんは、一字おぼえて
自信ができ、おもしろくなったのでしよう。うたちちゃんは、今
に字をみなおぼえて、世界中を読むでしょう、きつと。

青空文庫情報

底本：「定本 佐藤春夫全集 第24巻」臨川書店

2000（平成12）年2月10日初版発行

底本の親本：「読売新聞 夕刊」

1953（昭和28）年10月24日発行

初出：「読売新聞 夕刊」

1953（昭和28）年10月24日発行

入力：焼野

校正：菜夏

2017年9月24日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

「の」の字の世界

佐藤春夫

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>